

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HPで環境への取り組みを公表し、産業廃棄物のリサイクル化への取り組みを推進している。												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光発電設備の場所提供による利用促進を行っている。							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・契約農家の加工用トマトなどの原料調達を行っている。												12.2	13	14	15					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスマニュアルに明記し、社内周知。コンプライアンス組織を設置し、定期的な教育を実施している。																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンスマニュアルに明記し、社内周知。コンプライアンス組織を設置し、定期的な教育を実施している。																		16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・会社ロゴ、ブランドの商標登録および特許を取得する取り組みを行っている。											8.2	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・コンプライアンスマニュアルに明記し、社内周知及び管理を行っている。コンプライアンス組織を設置し、定期的な教育を実施している。 ・個人情報保護方針を策定し、HPに公開している																			16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・該当なし																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・供給者評価を実施している。 ・品質管理において、有害物質を含んでいないという検査結果を原材料メーカーに要求している						5					8		10		12	13	14	15	16	17
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・使用する原材料の安全性評価、各種検査を実施し、安全性を確保している。SDCA取組を実践している			3.9										12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	・FSSC22000、ISO9001を取得し、安心安全な商品作りを行っている。SDCA取組を実践している。パツリン分析、微生物検査を実施している。															9					
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	・自社缶飲料製品に使用している容器は、環境保全への配慮がされたものを使用している。							6						12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	・良質な地元農産物を安定加工し、消費者と原料生産者との懸け橋となり、経済活動の発展に寄与する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																												
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域未来牽引企業の認証を受けている。学校の工場見学等の受入を行っている。				4									9		11	12			14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・学生の職場体験(インターンシップ)受入を行っている。 ・信州大学知の森基金、日本缶詰レトルト食品協会主催の全国の養護施設への寄附を行っている。				4												11					14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・長野県産原料(りんご、トマト、えのき茸、他)を使用した自社商品の開発、製造、販売を行っている。														8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・企業理念を各部署に掲示し、全体朝礼では企業理念の唱和を実施している。														8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・会社規程に明記し、社員に周知している。																								16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・各内容に対し担当部署にて適切に対応を行っている。																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・問い合わせフリーダイヤル、および自社ホームページに問い合わせページを設置し対応を行っている。																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・役員会において内容の共有、対策を行っている。																								16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・長野興農株式会社の基本姿勢に明記されている。																								16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・危機管理計画に明記されている。 事業継続力強化計画(BCP)に基づき、BCM(事業継続マネジメント)を実践する																9		11		13	13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・危機管理組織において、検討・対策を行っている。															8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)